

龍谷大学矯正・保護課程開設40周年記念共催事業

若草プロジェクト 設立2周年シンポジウム

参加費
無料

要事前申込

先着50名様

「—SOSを心に抱えた少女や若い女性たちの支援—」

【開催趣旨】

貧困、虐待、ネグレクト、DV、いじめ、性的搾取、薬物依存、育児ノイローゼ等々若い女性や少女たちが社会の歪みの中で翻弄されています。最近には特に、SNSを通じた誘惑、違法なJKビジネスの横行、AV被害の拡大など新たな危険が拡がってきています。

彼女たちは被害者であると同時に、容易に薬物使用、暴行、違法性風俗、育児放棄などの罪を犯すリスクをかかえており、被害にあうことと犯罪に関わることが表裏の関係にあるとさえいえます。したがって、被害を未然に防ぐとともに、犯罪に巻き込まれる一歩手前で、また罪を償った後の社会復帰を、社会全体で支援することが重要です。

しかし、ともすれば、自己責任ということで切り捨てられて、彼女たちの実態や背景に十分な理解が得られていないのが実情であると思われます。

そこで、一般社団法人若草プロジェクトと龍谷大学矯正・保護総合センターの共催により、この問題を社会に訴えるシンポジウムを開催することとしました。



龍谷大学 響都ホール 校友会館
(京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階)
JR京都駅八条東口より徒歩約1分

日時

2017年10月14日(土) 13:00~17:00

場所

龍谷大学 響都ホール 校友会館

主催 一般社団法人若草プロジェクト
共催 龍谷大学矯正・保護総合センター
協力 京都府更生保護女性連盟

プログラム

お話

瀬戸内寂聴

(作家、僧侶、若草プロジェクト代表呼び掛け人)



講演2

「女の子たちのいま」

橘 ジュン (NPO法人BONDプロジェクト代表)

パネルディスカッション

「少女たちの実情と立ち直りに必要なこと」

- コーディネーター
浜井 浩一 (龍谷大学法学部教授)
- パネラー
安保 千秋 (弁護士)
齋藤 常子 (京都府更生保護女性連盟会長)
森 伸子 (法務省和泉学園長)
森口由美子 (大阪府立高校養護教諭)

講演1

「『つなぐ』『ひろめる』『まなぶ』
—若草プロジェクトの事業—」

村木 厚子

(前厚生労働事務次官、若草プロジェクト代表呼び掛け人)



参加お申込み

参加をご希望される方は、以下の要領に従い、インターネットにてお申込みください。

お申込み方法

- ①龍谷大学矯正・保護総合センターのホームページ (<http://rcrc.ryukoku.ac.jp/>) 左部にある「お申し込み」ボタンをクリックしてください。
- ②「お申し込みフォーム」の必要事項(名前・住所・メールアドレスなど)を入力した後、送信ボタンをクリックしてください。登録されたメールアドレスに受付完了メールを返信いたします。

お問い合わせ

龍谷大学 矯正・保護総合センター
TEL:075-645-2040

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67